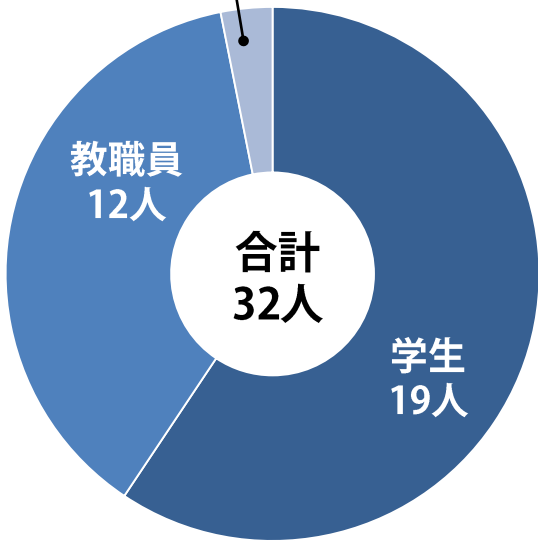


第13回マイクログリッド交流会参加者集計・アンケート結果

1. 参加者集計

企業・団体・その他
1人



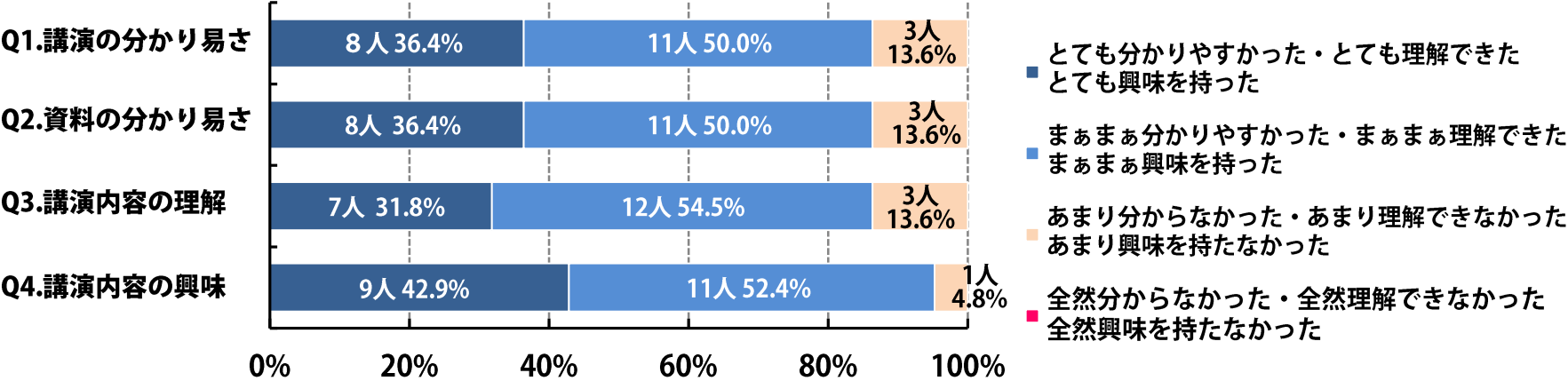
参加者の内訳

学生	KIT	機械工学科	1	19
		航空システム工学科	1	
		ロボティクス学科	3	
		電気電子工学科	2	
		情報工学科	5	
		メディア情報学科	1	
		機械工学専攻	1	
		電気電子工学専攻	3	
		情報工学専攻	1	
	JAIST	情報科学研究科	1	
教職員 (KIT・JAIST)			12	
企業・団体・その他 (講師含む)			1	
			合計	32



2. アンケート結果

2.1 講演1「エネルギーシステム開発に広がるMATLAB」

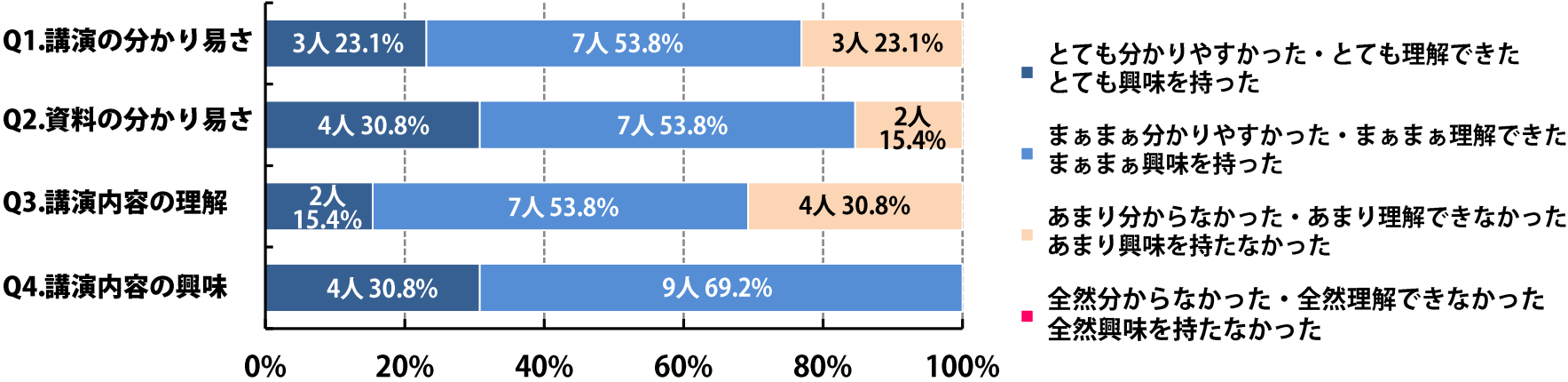


<自由記述>

- (1) MARLABが実際にどのように使われているか知ることができ、面白かった。(学生)
- (2) ロボットや自動運転車等のシュミレーション環境があると良いと思いました。(学生)
- (3) 知らなかったMATLABの機能に興味を持つことができた。(学生)
- (4) 例に挙げていた、論文に使用したプログラムがMATLABを使うことでたった8行になることに衝撃を受けました。(学生)
- (5) モデルベースデザインがたいへん有効であることがわかった。実際の製品開発で適用されていることにおどろいた。(教職員)

2. アンケート結果

2.2 講演2「水中における音波の伝搬特性と処理技術」



<自由記述>

- (1) 水中音響という日常生活で考えることやふれることのない分野のことを知れて良かった。（学生）
- (2) 水中音響などのシミュレーションがMATLABで簡単にできていて、使ってみたいと思った。（学生）
- (3) 今まで全く知らなかった分野について知ることができた。データ分析の重要性を感じた。（学生）
- (4) 様々な分野でMATLABが利用されていると実感できた。（学生）
- (5) 水中音響探索の話は、今回初めて聞いたが、たいへん興味深い分野であると思った。また、MATLABが有効に使われていることがわかった。（教職員）

3. MATLAB勉強会

■ 日 時 平成28年 11月 30日（水） 14:50 ～ 16:20（4限目）

■ 会 場 扇が丘キャンパス 6号館 163室
情報基礎教育研究センター

■ 勉強会の内容

MATLABに含まれるシミュレータ「Simulink」に対する基本的な使用方法を学び、簡単な物理モデルのシミュレーションを体験する。

■ 参 加 者 KIT学生4名

